

03205

鳥栖・三神



一般質問形式で町の考えをたじた中学生議員「みやき町中原庁舎」

中学生 行政課題ただす

みやき町 中学生が、議員を務め、町執行部と議論する「みやき町中学生子ども議会」が9月30日、同町中原庁舎の議場で開かれた。町内3中学校の2年生12人が、一般質問形式で通学路の危険や高齢者が住みやすい町づくりなどの行政課題について、町執行部の考えをたじた。

みやき町子ども議会

各校1人ずつの計3人が議長を務め、残り9人が一般質問に立った。生徒たちは、交通事故を防ぐためのカーブミラー増設や不審者に対応する防犯ブザー付き自動販売機の導入など、通学路の安全確保策を提案した。高齢者が住みやすい町づくりの一環として、運転免許を返納した高齢者を対象に「タクシーやバスなどの半額券を配布してはどうか」などと町の考えを聞いた。

末安伸之町長をはじめとした町執行部は、一つ一つ

「町の政策よく分かった」

の質問に対し、町の施策などを説明した。実施していない施策については「町の実情に合わせて検討したい」などと答えた。質問に立った中原中の大塚海優さんは「すこく緊張したが、町が実施している政策がよく分かった。友だちにも教えてあげたい」と話した。子ども議会は、町議会改革の一環として実施しており今回で7回目。中学生ら若い世代の町政への関心を高め、町づくりへの参加意欲を高めようと実施している。

(瀬戸健太郎)